



ほたて児童合唱団が、ぼくの「はるかなあしたから」を歌ってくれたのが、今から8年前のことだったのだけれど、その時うっかり土肥先生に質問するのを忘れ、以来ずっと、団名がなぜ「ほたて」なのだろうと思っていました。貝の帆立しか頭に浮かばなかったのです。それで「帆立児童合唱団」だと決め込んでいました。

ですが、今度送ってくださった定期演奏会のパンフレットにあるメンバーの名前の中に、保立小学校の児童がたくさん入っているのを見つけて、やっと、「ほたて」は帆立ではなくて保立なんだと知りました。

どちらにしても、ひらがなの「ほたて」の団名は、すごくいいですね。

「三色草子」をうたった録音のCDを送って下さって有り難うございます。すてきにのびのびした演奏ですね。

「三色草子」は、今から多分400年以上も前、日本の農民たちが田植えのときに、しごとうたとして歌っていた「田植歌」の歌詞のかずかずを集めて書き残した「田植草子」という本の中の、三つの歌の歌詞に作曲したものです。

古い時代のことだし、農村に住む人々がうたっていた民謡の一種だから、うたわれていた言葉は書き残せても、メロディーを書き残すことは出来ませんでした。でも、すばらしいユーモア、ゆたかな気持ちが歌いこまれたその言葉を読んでいるうちに、ぼくの中で、それらの言葉が旋律になってあふれ出て来たのです。

ほたて児童合唱団のみなさんが、この歌を大好きになってくれますように。そして演奏会の大成功を祈っています。

間宮芳生

2003年1月20日・東京の自宅より

間宮芳生

まみや みちお

作曲家



間宮芳生 (まみや・みちお)

1929年北海道旭川市生まれ。1952年東京音楽学校(現東京芸術大学)作曲科卒業。以来一貫して日本作曲界の第一線にある。作品は、オペラ、管弦楽曲、室内楽、合唱曲、日本伝統音楽の作品など多岐にわたる。ことに、《合唱のためのコンポジション》15作、《独唱とピアノのための日本民謡集》全24曲、セレナーデI・II・III、オペラ《昔嘶人買太郎兵衛》、《鳴神》など、声を媒体とした作品は、日本と世界の民族音楽の研究に立脚した独創的な領域をなす。毎日芸術賞、尾高賞、ザルツブルク・テレビオペラ賞、小泉文夫音楽賞など受賞多数。現在、静岡音楽館AOI芸術監督、桐朋学園大学特任教授。

映画「火垂るの墓」の作曲家でもある。



R ecording

三色草子 2002.12.21 ~ 2003.1.5
ピリーの木 2002.10.19 ~ 2003.1.25

Joint 共演

今年度は、共演させていただく機会が例年になく多かった。

昨年4月2日「中国・廈門(アモイ)交響楽団・演奏会」、4月29日「国府弘子 スーパーグループ meets ほたて児童合唱団」、8月4日「日韓交流少年少女合唱・サマーコンサート」……みな、世界に通用する音楽を持った方々である。「中国・廈門(アモイ)交響楽団」は見るのも聴くのも初めてであったが、1990年8月、ほたて児童合唱団が「中国友好都市青少年交流事業(フレンドビック90)演奏旅行」で中国・廈門市を訪問した時の町の様子や思い出が鮮やかによみがえった。中国の団員の方々と、その思い出話が通じ懐かしかった。

「ワールド・ビジョン韓国少年少女合唱団」の子どもたちも素晴らしい。世界のコンクールで一位を取った経歴を「なるほど」と思い、その澄んだ力強い歌声に強烈なインパクトを受けた。

そして、国府弘子さん率いるスーパーグループの方々と共演。国府さんは10枚のCDを出されているピアニストで、世界のミュージシャンと肩を並べたステージに数多く出演されているイメージからは想像できないほ

ど気さくで、私たちアマチュアの合唱団にとっても親しく接して下さいました。

中学生以上の団員は、その偉大さ・魅力を知っていた。目が輝いていた。中には、私が知らない間にサインをもらった子もいた。しかし、小学生の団員の中には、昼夜に続くリハーサルに疲れ、本番の出番待ちの間、スーパーミュージシャンの袖にいながら背を向けてぼっと座っていたので終わって私から説教された。著名な音楽家の方と同じステージに立てるといっただけでなく、その方々の生き様を、いや、後ろ姿や息づかいまでも子どもたちに学



んで、吸い取ってほしかったから。そんなこともあったが、私にとっても団員にとっても、それらの音楽家から、そしてもちろん音楽からたくさんのお話を学ばせていただいた。

Composer 作曲家

さて、ほたての定期演奏会はほとんど毎回、作曲家・音楽家の方への発信そして返信をいただいていたが、今回は、秋から取り組んできた合唱曲「三色草子」の産みの親(作曲家)間宮芳生先生への発信を試みた。スタジオ・ジブリのあの有名な映画「火垂るの墓」のサウンドトラックの音楽全曲を作曲された先生でもある。

ほたて児童合唱団・第11回定期演奏会(1995年1月)で上演したコンポジション第12番「はるかなあしたから」に寄せてメッセージをいただいで以来だから8年ぶりのコンタクトであった。

「火垂るの墓」は、戦争中の兄妹愛をテーマに、美しいアニメーション映像と間宮先生の切な美しい音楽が重なり、テレビでも何回と放映されてきたので、涙を流された方も多いいのではないだろうか。他にも先生のそういう映像音楽が数多くある。

しかし、私が思うに先生の音楽の真髄は声(合唱)のライフワークとして作品を出されてきた「鳥獣戯画」「オンゴウ・オーニ」等を含む「コンポジション」シリーズ(現在15作)や、弦楽四重奏曲、等々、前衛的で力強くまた独特な和音を持った作品にある。いや、映像音楽にもそれらは根底に潜んでいるのだが。

今回上演する「三色草子」は、児童合唱の名曲と言われ、あちこちのコンクールやコンサートでも数多く取り上げられている。その名演(間宮芳生指揮・静岡児童合唱団のCDもビクターから出ている)がある中、産みの親である間宮芳生先生の耳に届ける録音をするのだから、それはそれは大変な緊張感と音との戦いがあった。

私は、先生のコンポジションシリーズの中の男声合唱曲が好きである。民族音楽からたぎり出る力強さと、海のおいあり、土のおいありである。今回の「三色草子」には、ほたてのそういう男声合唱的なものをたっぷり込めた。出来たCDを聴きながら「これは三色草子ではなくてコンポジションじゃないか……」とニヤニヤするほどだった。でも、その作曲家はどう聴いて下さるか緊張感は続いた。壮絶な音楽・録音との戦いを終え、1月10日そのCDを発送し、1月13日にプログラムへのメッセージの可否を伺うという、大変忙しい先生に失礼なお願いの手紙をしたためていた。

結果は、OK!!
8年ぶりにお話しさせていただき嬉しさもこみ上げた

2002.8.17 ほたて児童合唱団のホームページ開設 <http://www.5c.biglobe.ne.jp/~hotates/>



し、お声も若々しく、はきはきされた感じもお褒めりなかった。1月13日の練習の合間、共に苦労した団員の前で携帯電話からお電話した。目の前で聞いていた子どもたちも、間宮先生の電話のお声は聞こえないものの、私の会話から「OK」が出たことに大喜びだった。

左に掲載した先生のメッセージが原稿用紙2枚、そして、曲についてのアドバイスを原稿用紙3枚びっしり書き込んでいただいた。そして、先生が最近指揮された静岡音楽館AOIのライブCDを1枚。最後に素敵なお写真が1枚。これだけのものを、日本を代表する作曲家の先生からいただいたことに、この紙面を借りて深くお礼申し上げる次第である。ほんとうに、ありがとうございました。



Homepage 電腦

今年度もう一つ、ほたて児童合唱団にとっての大きな変化がある。ホームページが出来たことだ。



以前から作ろう作ろうと思っていたが、昨年8月17日、世界のweb(インターネット)上にUPした。5ヶ月で4000アクセスを超えた。毎日30アクセスほどある。中には「ほたて」で検索して(ホタテ貝の通販が何かを探してか)来訪する方もいらっしゃるが、確実に「ほたて児童合唱団」で私たちを捜して来る方が検索のトップである。毎日のように来て下さる方も多い。

合唱団を離れて、大学や就職、結婚等で全国各地に離れた卒団生が、偶然探し当てて「掲示板」に近況を書き込んでくれたりする。1月には、オーストラリアにいる卒団生からの書き込みもあった。

私たちに「より所」ができた。作ってよかった。

Family 家族

現団員も10年以上に籍する者が7名いる。幼稚園児で入った子も高校生である。

小さい頃、上の学年のお姉ちゃん・お兄ちゃんから面倒見られかわいられていた子が、今は小さい子のお世話をする。上は21歳から下は4歳まで、まさにファミリーである。もう家族である。

そんな子どもたちと来年は合唱団20歳を迎える。団員と支えて下さる皆様に感謝する。

コンピューター音楽・馬渡静一郎様、照明・音響で絶大なお力添えをいただきEARTH STATIONの皆様。役員様はじめ保護者の皆様。支援していただきます方々。毎回楽しみにお越しいただきますお客様。ほんとうにありがとうございます。

団員に、私から恒例のメッセージ……「別れる切れるは、芸者のうちに言う言葉。今のうちには、いっそ死ねと言うとかれやす。」……LOVE!

あくまで、「子どもの可能性」を信じて……
今日の「音楽」が「魂」が、いつの日か「あたたかく」映し出されますように。

ほたて児童合唱団 指導者 土肥章一

Love

S tage

国府弘子 スーパーグループ meets ほたて児童合唱団
2002.4.29 コミュニティセンターホール